



【新刊】建設産業は「いいね！」／本当の魅力伝える情報満載

建設未来研究会が新刊「いいね！建設産業 本当の魅力～仕事の中身を知れば、もっと関わりたくなる～」(日経BP)を発売した。社会や経済を支える建設産業の役割を幅広く説明するとともに、大規模な技術、最新の技術なども交え、多様なプロジェクトやそこで働く人々を紹介し、建設の真の面白さを伝える内容になっている。研究会は足立敏之参議院議員の呼び掛けで発足し、国土交通省OBで構成。1日には、研究会のメンバーが国交省を訪れて齊藤鉄夫大臣に新刊を贈呈しており、大臣も建設産業の魅力伝える内容になっていることを称賛した。



建設未来研究会のメンバーが齊藤国交相へ書籍を手渡した



「いいね！建設産業 本当の魅力」の表紙

る。

「技術・プロジェクト編」では、インフラを支える驚きの技術や日本を代表する構造物・建築物の物語、インフラ分野のDXをはじめとする新分野への展開、宇宙開発技術やスマートシティといった未来へ挑戦する取り組みなどを取り上げている。また「働く人編」では、女性や若手、多様な人材の活躍、各企業で働く人に聞いた仕事の面白さ、誇りとやりがい、就職してからも学べる仕組みを紹介している。

足立議員は「建設産業は幅が広く、奥が深く、わくわくする世界。一人でも多くの皆さんが魅力を感じて建設産業を志していただきたいという思いを込めた」と語る。さらに「新3K（給与・休暇・希望）のうち、特に希望が持てる、仕事がある産業であることを知ってもらおうと、魅力あるプロジェクトや人にウエイトを置いた。建設業で頑張っている人たちのことを知っていただければ」と期待を寄せる。

同書籍はA4版カラーで143ページ。定価2420円（税別）とな